



会社概要

<http://www.comtec-h.co.jp/>

2019年7月
CG-0048-N

会社概要

社名	株式会社コムテック広島
所在地	広島市南区的場町一丁目8番15号 アートビル6階
代表者	代表取締役 反本 正典
資本金	1,000万円
設立	1988年(昭和63年)7月15日
業務開始	1988年(昭和63年)8月18日
スタッフ	17名(2019年5月末現在)
事業内容	1. 通信技術、電子技術の調査、開発およびコンサルテーション 2. 通信情報処理機器等のハードウェアの開発、設計並びに製造販売 3. 労働者派遣事業(派34-300548) 4. 前各号に付帯又は関連する一切の業務
取引銀行	広島銀行 仁保支店

設立からの経緯

- ・1988年(昭和63年)7月
優秀な技術者を確保するため、地方の中核都市に技術分社を設立するという村田機械株式会社の方針に「世界へ躍進する通信技術を広島で育てたい」という広島の技術集団が参画して研究開発会社「コムテック広島」が資本金3,000万円で設立された。
- ・1997年(平成9年)6月
資本金を2,000万円減少して1,000万円とし、村田機械株式会社の子会社から新しく株式会社コムテック広島として独立した。
- ・2005年(平成17年)4月
東広島市八本松に携帯電話開発・設計チームの八本松分室をシャープ株式会社構内に設置
- ・2007年(平成19年)3月
特定労働者派遣事業届出
- ・2009年(平成21年)10月
ISO9001:2008 認証取得・本社技術部門
- ・2011年(平成23年)11月
無線設備の登録検査等事業者の登録
- ・2017年(平成29年)12月
労働者派遣事業許可取得(派34-300548)
- ・2018年(平成30年)7月
代表取締役を創業者川島正敏から中山親に変更
- ・2018年(平成30年)10月
株式会社テクノクラーツに株式を譲渡し、同社のグループ会社となる。
代表取締役 反本 正典
- ・2019年(平成31年)4月
本社を広島市南区的場町へ移転

技術経歴

[1] 概要

当社の技術スタッフは、

1. 通信機メーカーの設計部門
2. その他エレクトロニクス関連のソフト、ハード設計部門

の出身者であり、電気通信技術に関し豊富でかつ多岐にわたる経験を有している。

昭和60年のNTT民営化にともなう電気通信事業及び端末機器の自由化は通信機器の研究開発に大きな刺激とチャンスを与えてくれた。加えて世界的な情報通信の発展と市場の自由化・拡大が技術の国際化及び各国別対応を強く求めている。ITU勧告並びに世界各国の電気通信規格に精通し、優れた通信技術を広島から世界に送り出したいと、コムテック広島のスタッフは念願している。

業務概要

- ・ デジタル、アナログ、無線機器のハード、ソフトウェアの開発、設計、製造
- ・ 通信機器の国内、海外型式取得に必要な技術指導、回路改造、測定、評価
- ・ 海外規格/海外製品/部品情報の調査
- ・ 携帯電話端末の無線回路/電子回路/機構部の設計、測定、調整、評価
- ・ 携帯電話基地局の受信エリア測定
- ・ 建物内における携帯電話の電波感度調査
- ・ EMC (EMI、EMS) の測定・対策

加盟団体

広島商工会議所

広島県EMC研究会

主要取引先

シャープ株式会社

株式会社ドコモCS中国

ダイトロン株式会社

日本マーツ株式会社

(他受注実績35社)

開発パートナー

当社は、関東東海地区で2社、関西地区で2社、中国地区で3社など合計で7社他と開発パートナーとしての業務提携をしており、通信機器や電子制御機器について幅広い開発体制を構築している。

《設立目論み書抜粋》 (1987年(昭和62年)12月作成)

[1] 設立の趣旨

1985年(昭和60年)4月より電気通信事業が本格的に一般開放され、高度情報化時代へ向けて自由競争による多様な通信サービスの展開が可能になった。しかし永年国家事業としてエンド・ツー・エンドの思想のもとに独占的に電気通信サービスが運用されて来たため技術が一部に偏在しており、又学校教育においても人材を教育するための体制が十分整っていないのが現状である。一般社会及び産業界からの多岐にわたる電気通信技術に対するニーズに応えるためにここに研究開発機関の設立を目論む次第である。広く人材を求め又将来を担う若い人材の育成に努め現代社会の感覚あるいは神経とも言うべき電気通信機器及び通信システムの研究・開発を行うことは事業として十分採算性があると確信出来る。既にエレクトロニクス及び情報処理技術が業種を問わず全産業界で必要とされている今日、電気通信技術を加えることによってより高度でかつ有機的な商品市場を獲得することが可能である。

[2] 事業目的及び内容

2-1 技術概要

- (1) ここで電気通信事業とは電話システムに象徴される有線電気通信が主たる事業でありラジオ、テレビ等の放送事業とは歴史的、社会的背景がいささか異なる。しかし既に回線中継システム及び端末器の無線化が進んでおり有線、無線の技術の混在又は電気通信と放送の相互乗り入れを考慮すべきである。
- (2) 情報伝送方式にアナログ方式とデジタル方式があり、今後とも双方混在のまま発展して行くと思われる。
- (3) 通信事業は各国とも国営又は国の強い管理下で運営されており、各国毎に独自の歴史的発展の背景を持っておりC C I T T 勧告があるとは言いながら各国毎のシステムを調査・研究した上で開発を進める必要がある。
- (4) 現在のエレクトロニクス技術は全産業に浸透しており各種の装置・機器はマイクロコンピュータ等によって制御されているものが多く通信インターフェイスを接続することにより遠隔制御、データ管理、保守サービスのより効率化が可能となる。

2-2 研究・開発テーマ

- (1) 現行電話回線に接続する機器及びN C U (回線制御ユニット) の開発
- (2) 非電話系機器と電話回線との接続用機器及びN C U の開発
- (3) 回線システム(交換機及び回線)と相互に制御することの出来る機械の開発
- (4) 電話回線以外のシステムへの乗り入れ
- (5) 諸外国規格の調査及び適合回路の設計・開発
- (6) デジタル回線用、光通信用機器、インターフェイスの開発
- (7) 無線化機器の開発
- (8) 高度情報化時代における社会ニーズの調査・研究
- (9) その他通信技術に関連する研究・開発

売上高及び人員数の推移

決算年度	売上高 (百万円)	人数	1億円	2億円	4億円	6億円	8億円	10億円
			20人	40人	60人			
第1期 自1988年(昭和63年)7月 至1989年(平成元年)5月	71	13	■	■				
第2期 自1989年(平成元年)6月 至1990年(平成2年)5月	143	15	■	■				
第3期 自1990年(平成2年)6月 至1991年(平成3年)5月	157	17	■	■				
第4期 自1991年(平成3年)6月 至1992年(平成4年)5月	147	15	■	■				
第5期 自1992年(平成4年)6月 至1993年(平成5年)5月	141	13	■	■				
第6期 自1993年(平成5年)6月 至1994年(平成6年)5月	123	12	■	■				
第7期 自1994年(平成6年)6月 至1995年(平成7年)5月	167	11	■	■				
第8期 自1995年(平成7年)6月 至1996年(平成8年)5月	121	11	■	■				
第9期 自1996年(平成8年)6月 至1997年(平成9年)5月	82	8	■	■				
第10期 自1997年(平成9年)6月 至1998年(平成10年)5月	101	8	■	■				
第11期 自1998年(平成10年)6月 至1999年(平成11年)5月	72	9	■	■				
第12期 自1999年(平成11年)6月 至2000年(平成12年)5月	109	11	■	■				
第13期 自2000年(平成12年)6月 至2001年(平成13年)5月	114	8	■	■				
第14期 自2001年(平成13年)6月 至2002年(平成14年)5月	102	8	■	■				
第15期 自2002年(平成14年)6月 至2003年(平成15年)5月	79	9	■	■				
第16期 自2003年(平成15年)6月 至2004年(平成16年)5月	108	11	■	■				

決算年度	売上高 (百万円)	人数	1 億円	2 億円	4 億円	6 億円	8 億円	10 億円
			20 人	40 人	60 人			
第 17 期 自 2004 年 (平成 16 年) 6 月 至 2005 年 (平成 17 年) 5 月	146	12	■	■				
第 18 期 自 2005 年 (平成 17 年) 6 月 至 2006 年 (平成 18 年) 5 月	276	18	■	■				
第 19 期 自 2006 年 (平成 18 年) 6 月 至 2007 年 (平成 19 年) 5 月	463	42	■	■				
第 20 期 自 2007 年 (平成 19 年) 6 月 至 2008 年 (平成 20 年) 5 月	753	64	■	■				
第 21 期 自 2008 年 (平成 20 年) 6 月 至 2009 年 (平成 21 年) 5 月	844	69	■	■				
第 22 期 自 2009 年 (平成 21 年) 6 月 至 2010 年 (平成 22 年) 5 月	873	62	■	■				
第 23 期 自 2010 年 (平成 22 年) 6 月 至 2011 年 (平成 23 年) 5 月	759	60	■	■				
第 24 期 自 2011 年 (平成 23 年) 6 月 至 2012 年 (平成 24 年) 5 月	654	56	■	■				
第 25 期 自 2012 年 (平成 24 年) 6 月 至 2013 年 (平成 25 年) 5 月	461	44	■	■				
第 26 期 自 2013 年 (平成 25 年) 6 月 至 2014 年 (平成 26 年) 5 月	381	39	■	■				
第 27 期 自 2014 年 (平成 26 年) 6 月 至 2015 年 (平成 27 年) 5 月	375	34	■	■				
第 28 期 自 2015 年 (平成 27 年) 6 月 至 2016 年 (平成 28 年) 5 月	358	32	■	■				
第 29 期 自 2016 年 (平成 28 年) 6 月 至 2017 年 (平成 29 年) 5 月	233	20	■	■				
第 30 期 自 2017 年 (平成 29 年) 6 月 至 2018 年 (平成 30 年) 5 月	183	18	■	■				
第 31 期 自 2018 年 (平成 30 年) 6 月 至 2019 年 (令和元年) 5 月	193	17	■	■				

アクセス



住所：広島市南区の場町一丁目8番15号 アートビル6階
電話：082-568-8680

公共交通機関

JR広島駅（南口）から徒歩8分



業務概要

<http://www.comtec-h.co.jp/>

会社品質方針

- I. 「世界へ躍進する通信技術を広島で育てたい」
「人にやさしい通信技術を世界へ」という会社設立コンセプトのもと、安全で高品質の技術・サービス・製品を提供し、顧客満足度の維持・向上を目指す。
- II. 創意工夫によりお客様に信頼される品質を求め続けること。
- ①品質マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
 - ②設定した品質目標の実行・見直しを機動的に行う。

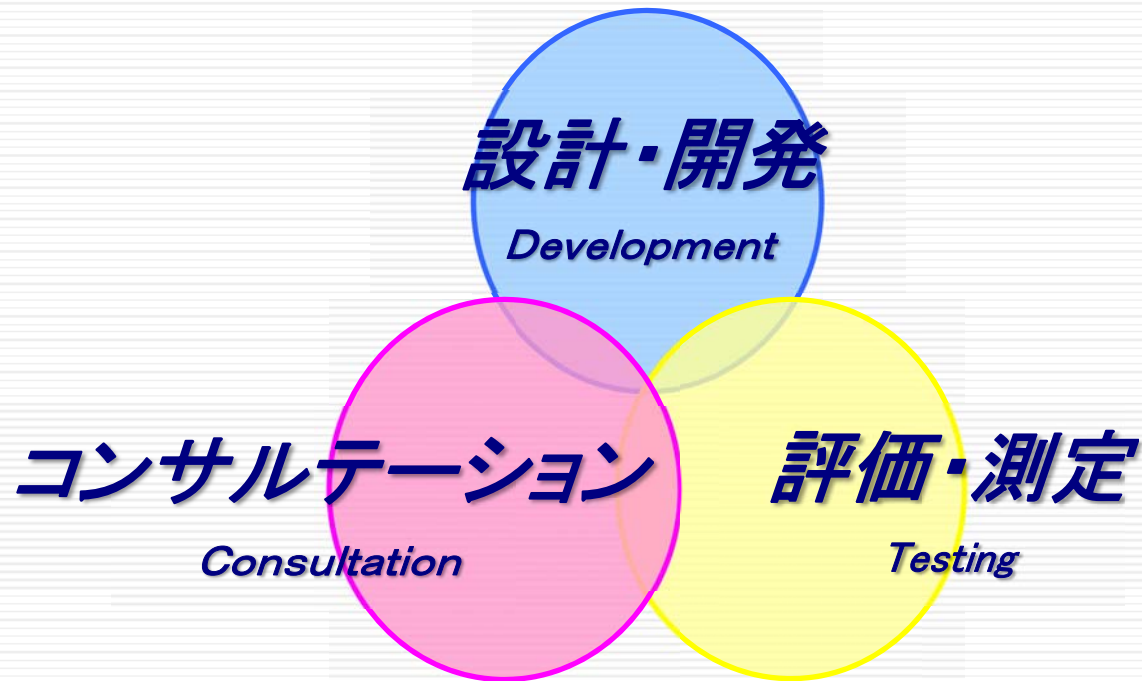


ISO9001:2015 認証取得
本社技術部門

業務概要

●〈設計・開発〉 〈コンサルテーション〉 〈評価・測定〉

この3つのサービスを軸に、各種多様なお客様のニーズにお答えします。
小回りの利く提案型の組織だからこそ、私たちはお客様とともに最善を追究し
続け、必ずご満足いただける結果を残します。



設計・開発 Development



- ・デジタル、アナログ、無線機器のハード、ソフトウェアの開発、設計
- ・専用・小ロットにも対応した機器のハード、ソフトウェアの開発、設計、製造
- ・無線通信機器設計（無線回路/アンテナ設計を含む電子回路設計、機構設計）

◆こんなものが欲しい！

「似たような物はあるけど、もっと別の使い方が出来る物が欲しい」

そんなご要望にお答えします。独自の仕様で設計・開発を行いアイデアを具現化します。

◆古い信頼性のあるシステムを、将来に渡り保守し続けるには！

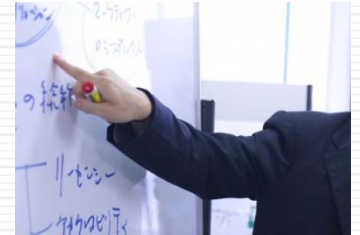
古い部品がいつまでも供給されているとは限りません。またアナログ技術者の減少により、手がつけられない等の問題があります。

私共はそのような古い大切なシステムに現行の部品を使用し、最小限のシステムの再構築を行うことにより、信頼性を損なわず将来に対応する等の技術を提供できます。

◆仕様書から、納品までの過程で必要な全てのドキュメントを私共で作成します。提案型の組織だからこそ付加価値を提供できます。

コンサルテーション

Consultation



- ・国内・海外通信機器の国内型式取得に必要な技術指導、回路改造、測定及び申請業務代行
 - ・通信機器に関する海外規格・海外製品・部品情報の調査、海外型式取得に必要な評価・測定
 - ・EMC (EMI、EMS) 対策に関するコンサルテーション
-
- ◆通信機器の海外展開を行いたいが、どのような規格で、どのように申請すればよいのか分からない。そんな不明点を明快にします。また認可取得に必要な技術指導をします。
 - ◆通信機器のスムーズな認可取得をしたい。今まで培ったノウハウによりコストを抑えた事前の確認・測定を行うことにより、スムーズな認可取得が可能です。
 - ◆海外規格、国内規格の各種通信機器認証取得を行ってきた実績を基盤に、回路改造(設計)を含めた取得までのトータルなコンサルテーションを提供します。

評価・測定

Testing



- ・無線通信機器（無線回路/アンテナ/Wi-Fi/Bluetooth/電子回路/機構部）の測定、調整、評価
 - ・携帯電話基地局の受信エリア測定
 - ・建物内における携帯電話の電波感度調査
 - ・EMC (EMI、EMS) の測定・対策
 - ・通信機器評価測定
-
- ◆無線系通信機器の基本性能測定から調整まで一貫して作業を行うことが可能です。
 - ◆携帯電話基地局の受信エリアを専用車両で詳細な測定を行っています。また、商業施設等に調査交渉を行い施設内不感場所を特定させ電波状況の改善につなげています。
 - ◆電氣的ノイズ、不要電波が他の機器の正常な動作に干渉し誤動作を引き起こす危険性は常に問題視されており、EMC 試験を行う必要性が高まってきました。こうした試験の実施と対策等の技術を提供できます。

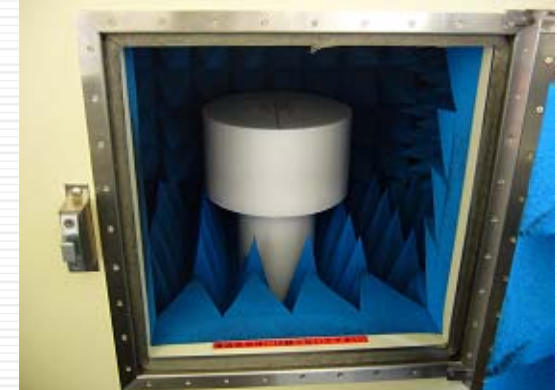
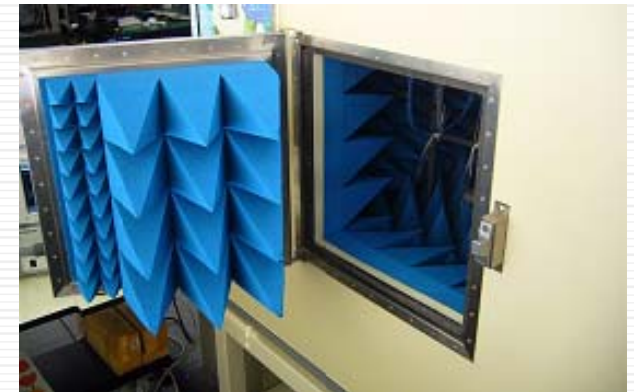
測定設備

無線系測定器

NO	機器名	型番	製造者名
1	Network Analyzer	E5071B	アジレント テクノロジ
2		E5061A	アジレント テクノロジ
3		E5062A	アジレント テクノロジ
4		ZNB8	ローデシュワルツ
5	Signal Analyzer	N9010A	アジレント テクノロジ
6		N9020A	アジレント テクノロジ
7	Close-Field Probe	11940A/11941A	アジレント テクノロジ
8	Spectrum Analyzer	E4440A	アジレント テクノロジ
9		E4408B	アジレント テクノロジ
10		MS2668C	アンリツ
11		FSP30-OpB4	ローデシュワルツ
12		FSV40	ローデシュワルツ
13	MXG Microwave SG	N5183A	アジレント テクノロジ
14	デジタル変調信号発生器	MG3672A	アンリツ
15	マイクロ波周波数カウンタ	MF2414B	アンリツ
16	Preamplifier	MODEL310	SONOMA INSTRUMENT
17		8449B	アジレント テクノロジ
18		87405B	アジレント テクノロジ
19	UniversalRadioCommunication Tester	CMU200	ローデシュワルツ
20	Bluetooth Tester	MT8852B	アンリツ Bluetooth 5 対応
21	WLAN tester	MT8860C	アンリツ
22		N4010A	アジレント テクノロジ 2台



23		ML2437A	アンリツ
24	パワーメータ	ML2487B	アンリツ
25		MA2491A	アンリツ
26	パワーテハイダ	1870A	WEINSCHTEL
27	Tunable Notch Filter	3TNF-500/1000-N/N	K&L Microwave
28		3TNF-1000/2000-N/N	
29	電波暗箱	MWT-Model-800	トーキン
30	卓上電波暗箱(シールドボックス)	MA8120E	アンリツ
31		TC-5915A	TESCOM
32	ログペリアンテナ	ESLP9145	Schwarzbeck
33	2.4GHz 帯フラットアンテナ	TC-93024A	TESCOM
34	DIRECTIONAL Coupler	1851-305	KRYTAR
35	パワーセンサ	NRP-Z81	ローデシュワルツ
36	ユニバーサルパワーセンサ	MA2481D	アンリツ
37	Vector Signal Generator	E4438C	アジレント テクノロジ
38		N5182B	アジレント テクノロジ
39	ISDB-T Signal Generator	LG3802	リーダー電子
40	Signal Analyzer	N9030A	アジレント テクノロジ
41	Vector Signal Analysis ソフトウェア	89601B	アジレント テクノロジ



アナログ・音系測定器

NO	機器名	型番	製造者名
1	インピーダンスアナライザ	4192A	アジレント テクノロジ

環境系試験器

NO	機器名	型番	製造者名
1	恒温恒湿槽	SH-242	ESPEC
2	Near Field Probe Set	7405	ETS-LINDGREN

その他測定器他

NO	機器名	型番	製造者名
1	Modulation Analyzer	8901B	アジレント テクノロジ
2	デジタル ストレージオシロスコープ	54852ADS0(10G サンプル/S)	アジレント テクノロジ
3		VC-6025	HITACHI
4		MSO6104A	アジレント テクノロジ
5		DSO7104A	アジレント テクノロジ
6		MS7104B-ABJ	アジレント テクノロジ
7		DS6121A	岩崎通信機
8		Degital Multimeter	U1252A
9	73201		YOKOGAWA
10	7461A/7352A		ADCMT 4台
11	Hispeed power supply	2303-PJ	KEITHLAY
12	直流電源	PD56-6D	KENWOOD
13		6625A	アジレント テクノロジ
14		PR18-1.2A	KENWOOD
15		PW18-3ADP	TEXIO
16		PMC18-3A	菊水電子工業

17	交流電源	PCR4000W	菊水電子工業
18	照度計	51003	横河電機
19	温湿度計	HYGROPALM1	神栄
20	Potable MULTILOGGER	ZR-RX401A	OMRON
21	3Dプリンター	MF-1000	ムトーエンジニアリング
22	サーモギア	G100	日本アビオニクス
23	温度ロガー	LR5021	日置電機
24	マノメーター	EA770GA-4	エスコ
25	電子負荷	LSA-165	TEXIO

開発スタッフ

2019年7月現在

No	出身地	生年	入社年	経験年数	担 務 ・ 技 術 経 験
1	広島県	1961	1988	41	携帯電話技術調査・ソフト設計・技術管理
2	広島県	1963	2004	35	経営管理・技術管理・回路設計・ソフト設計
3	島根県	1978	2004	19	携帯電話技術調査・ソフト設計
4	広島県	1967	2004	33	機構設計
5	広島県	1978	2006	18	無線設計・回路設計・評価
6	広島県	1979	2006	17	回路設計・評価
7	広島県	1981	2006	14	回路設計・評価
8	広島県	1977	2007	19	回路設計・評価
9	広島県	1982	2007	14	回路設計・評価・ソフト設計
10	広島県	1977	2009	19	無線設計・評価
11	広島県	1981	2009	15	無線設計・評価
12	広島県	1956	2018	34	無線設計・評価
13	イラク	1983	2019	1	無線設計・評価
14	広島県	1990	2019	1	回路設計・評価



開発パートナー

No	所在地	業 務	内 容
1	兵庫県	無線機器開発製造・電子応用機器・デバイス開発製造	
2	広島県	電話回線制御機器開発	
3	広島県	回路設計・ソフト設計	
4	大阪府	プリント基板設計・試作	
5	東京都	電子応用回路・高周波回路設計、製造	
6	兵庫県	半導体・電子機器設計	
7	広島県	ソフト設計	



開発実績

◆産業用制御機器

- ・自動倉庫制御用基板
- ・自動運搬車制御用基板
- ・温湿度監視制御装置
- ・携帯電話基地局アンテナチルト遠隔調整装置
- ・電力低減制御装置
- ・スイッチング電源ユニット

◆無線通信機器

- ・コードレスホン(国内、中国)
- ・900MHzコードレスホン(ドイツ)
- ・46/49MHzコードレスホン(USA)
- ・ページャーユニット(中国)
- ・1. 5GHz、1. 9GHz用アンテナ
- ・2. 4GHzDSSコードレスホン(USA)
- ・2. 4GHzW-DCTコードレスホン無線ユニット
- ・無線LAN用2. 4GHz/5. 2GHz帯デュアルバンドパターンアンテナ
- ・携帯電話機ベースバンド部設計、機構部設計、無線系設計
- ・携帯電話ソフト評価
- ・セキュリティ用小電カリモコン送信機
- ・携帯情報通信端末設計
- ・防爆型無線機開発
- ・IoT向けWi-Fiボード開発
- ・IoT向け IEEE802.15.4 端末装置開発
- ・通信ケーブル Bluetooth ワイヤレス化開発
- ・無線ロガー(LTE/IEEE802.15.4)

◆電気通信機器

- ・アナログ、デジタルTAD/TAMユニット
- ・テレメタリング用NCU付モデムユニット
- ・ハンズフリーホンユニット
- ・セキュリティ装置用電話回線ユニット(USA、ドイツ)
- ・FAX用電話基板(国内・海外)
- ・FAXモデムボード(通信プロトコル内蔵)
- ・カラーテレビドアホンユニット
- ・VOIP評価ボード
- ・デジタルPBX用ラインカード
- ・半導体拡販用デモセット(多機能電話機/コードレスホン/コーラーID用マイコン)
- ・IMTサービス簡易試験装置



どのようなことでもお気軽にお問合せください。
お客様のニーズにお応えできるよう誠心誠意対応いたします。

株式会社コムテック広島

〒732-0824

広島市南区的場町一丁目8番15号

アートビル6階

電話 (082)568-8680

FAX (082)568-8670

URL <http://www.comtec-h.co.jp/>